



第14回宮浜温泉まつり

宮浜温泉で
夕空に舞うまくら

夏の終わりの風物詩、宮浜温泉まつりが8月30日に行われました。まつりでは毎年恒例の温泉旅館まくら投げ世界選手権を開催。腕自慢の参加者が力いっぱい投げるまくらが宙を飛びました。会場ステージでは、鳥神太鼓やチアリーディング、神楽などが行われました。また、出店ではかきやステーキなどを買い求める人も多く、大野瀬戸を一望できる会場は多くの人でにぎわいました。



大会公式ユニフォームである浴衣を羽織る参加者。力だけではまっすぐ飛ばないまくらに苦心する姿が見られました。

中学生と市長のふれあいトーク

まちの未来へ、
市内の中学生から提案

8月29日、中学生と市長のふれあいトークを廿日市市役所で開催しました。参加した学校は市内の11校。各学校からの代表者が眞野市長に向け、まちづくりへの提案を行いました。中学生は「もし自分が市長だったら」というテーマで提案。観光やごみ問題、過疎などに対し、自分の思い描く廿日市の姿を発信しました。それを受け、市長からは市の事業や考え方を話しました。



写真は、佐伯中学校の木村友紀さん。中学生と市長のふれあいトークは今年で18回目。会の最後には生徒が自分の将来の夢を話しました。

くじまの森主催ガキ大将プロジェクト

玖島で川遊び！
楽しいそうめん流しも

8月22日に「川の学校」が開かれました。前夜までの雨が上がり、青空となった当日。玖島の大歳川に子どもたちの笑い声が響き、にぎやかな1日となりました。川で生き物の観察や宝探しをした後は、玖島市民センターの駐車場で流しそうめんを堪能。友和から参加した田村惺梨ちゃん（5歳）は、「カニを自分で捕まえられるのがうれしかった」と笑顔を見せてくれました。



くじまの森の山崎誠司さんは、「[ナ]が無くて楽しんでもらえて良かった。これからも玖島を盛り上げて情報発信していきたいです」と話してくれました。

二百廿日豊年市民祭

秋の収穫への感謝、
躍動するみこし

9月12日、二百廿日豊年市民祭が廿日市天満宮、はつかいち本通り、駅通りで開催されました。豊年への感謝の祭りとして300年に渡り続いてきたこの祭り。大きな掛け声とともに仮みこしが通りを練り歩きました。祭りの風物詩でもある露店も並び、夕方からは多くの人出でにぎわいを見せました。また、中国醸造で作られたお酒の鏡開きも行われ、来場者にふるまわれました。



躍動するみこし。掛け声とともに、担ぎ手は横飛びに跳ねながら動きます。おはやしや獅子舞も仮みこしと一緒に通りを練り歩きました。

JICA国際協力体験プログラム

チョコレートから
見るセカイ

9月12日、市民活動センターでフェアトレードを学ぶ講座が市国際交流協会の共催で開催されました。講師はJICA中国国際センターの上田愛さんと、元青年海外協力隊の中里春菜さん。クイズなどを通してチョコレートを取り巻くさまざまな問題を学び、生産国の労働者の生活を守るためにできることを考えました。また、少数民族の文化についても学ぶ時間となりました。



買い取り業者とカカオ豆農園に分かれて行ったカカオ豆取り引きゲーム。価格の設定や取り引きへの応じ方などの難しさを実感しました。

枕崎台風土砂災害から70年

忘れてはいけない
原爆投下1カ月後の悲劇

9月12日、宮浜温泉で慰霊祭が開かれました。原爆投下の1カ月後、昭和20年9月17日に大野陸軍病院を襲った土砂災害。原爆の治療を受けていた患者、病院関係者165人と京都大学から調査と救護のため来ていた11人が被災。尊い人命が失われました。京都大学研究班の遺族代表、眞下芳夫さんは「過去の記憶を未来につなぎ、平和を発信し続けてほしいです」と話してくれました。



慰霊碑に献花をする眞下さん。京都大学教授であった父を亡くしました。原爆投下後の混乱がこの災害に大きな影響を与えました。

地区	医療機関名	住所	電話番号	インフルエンザ	高齢者肺炎球菌
廿日市	明石内科クリニック	山陽園	☎1911	○	○
	阿品土谷病院	阿品四丁目	☎5050	○	○
	あまのクリニック	串戸五丁目	☎5151	○	○
	アマノリハビリテーション病院	陽光台五丁目	☎0800	○	○
	網本内科消化器科医院	平良二丁目	☎3434	○	○
	あわや内科クリニック	佐方四丁目	☎0288	○	○
	石橋クリニック	串戸一丁目	☎5206	○	○
	えだひろ内科成人病クリニック	下平良一丁目	☎1700	○	○
	おおさき小児クリニック	阿品三丁目	☎3131	○	○
	大田整形外科	廿日市二丁目	☎6211	○	○
	小田耳鼻咽喉科医院	宮内	☎7733	○	○
	小山整形外科医院	大東	☎5100	○	○
	かぎもと内科・皮フ科・形成外科	廿日市二丁目	☎3831 ☎3832	○	○
	勝谷医院	本町	☎0350	○	○
	勝谷・小笠原クリニック	地御前二丁目	☎0262	○	○
	かとうレディースクリニック	阿品三丁目	☎0135	○	○
	亀田医院	宮内	☎2351	○	○
	かわごえクリニック	宮内	☎3859	○	○
	きむら内科小児科医院	阿品台四丁目	☎2238	○	○
	小林内科泌尿器科医院	宮園三丁目	☎5150	○	○
	斉藤脳外科クリニック	串戸二丁目	☎1212	○	○
	さくらクリニック	宮内	☎2201	○	○
	佐藤皮膚科クリニック	串戸二丁目	☎3400	○	○
	四季が丘クリニック	四季が丘五丁目	☎5005	○	○
	しげの整形外科スポーツクリニック	阿品三丁目	☎3333	○	○
	じごぜんクリニック	地御前三丁目	☎3355	○	○
	仁愛内科医院	地御前三丁目	☎3100	○	○
	せいこう胃腸科・外科医院	佐方	☎0070	○	○
	双樹クリニック	新宮二丁目	☎3555	○	○
	田口脳外科クリニック	阿品三丁目	☎7788	○	○
	田辺医院	駅前	☎1135	○	○
	たなべ小児科	平良山手	☎1234	○	○
	たに内科クリニック	地御前一丁目	☎3711	○	○
	玉川内科アレルギー科クリニック	宮内	☎6222	○	○
	とうげ外科胃腸科	本町	☎6220	○	○
	内藤内科医院	佐方四丁目	☎8626	○	○
	中尾医院	天神	☎2255	○	○
	なかごう内科	上平良	☎2210	○	○
	長谷川医院	廿日市一丁目	☎0744	○	○
	廿日市記念病院	陽光台五丁目	☎2300	○	○
	廿日市野村病院	宮内	☎2111	○	○
	鼻岡内科医院	宮内一丁目	☎6555	○	○
	半明内科クリニック	宮内四丁目	☎0111	○	○
	ひらた耳鼻咽喉科アレルギー科	天神	☎3828	○	○
	平田内科小児科医院	阿品台四丁目	☎1155	○	○
ふじかわ心療内科クリニック	下平良一丁目	☎0035	○	○	
松浦内科医院	新宮一丁目	☎0752	○	○	
松田整形外科	串戸二丁目	☎1800	○	○	
みずの耳鼻咽喉科	串戸四丁目	☎3110	○	○	
みに泌尿器科クリニック	下平良一丁目	☎5000	○	○	
宮河小児科医院	本町	☎1703	○	○	
むつかど内科呼吸器科	阿品三丁目	☎2100	○	○	
八幡クリニック	串戸四丁目	☎8118	○	○	
山根クリニック	宮内	☎5177	○	○	
吉田内科胃腸科医院	阿品一丁目	☎3666	○	○	
わか小児科医院	下平良一丁目	☎0207	○	○	
佐伯	天野医院	津田	☎1181	○	○
	おおくぼ内科	永原	☎3400	○	○
	佐伯中央病院	津田	☎1100	○	○
	友和病院	峠	☎0688	○	○
吉和	廿日市市吉和診療所	吉和	☎2780	○	○
大野	青葉レディースクリニック	福面二丁目	☎2327	○	○
	安東内科クリニック	対敵山二丁目	☎1231	○	○
	井上内科医院	大野一丁目	☎0600	○	○
	大野浦病院	丸石二丁目	☎2426	○	○
	大野キッズ・ファミリークリニック	大野中央五丁目	☎3021	○	○
大野東クリニック	大野下更地	☎1121	○	○	

インフルエンザ予防接種と
高齢者肺炎球菌予防接種



申請・問合せ
廿日市市保健センター ☎1610 佐伯支所福祉グループ ☎1124
吉和支所市民福祉グループ ☎2113 大野支所福祉グループ ☎3309
宮島支所福祉グループ ☎42001

廿日市市に住民票がある対象の人には、予防接種にかかる費用の一部を公費で負担します。予防接種を希望する人は、表の医療機関に予約をして受けてください。廿日市市外の医療機関で接種を希望する場合は、保健センター、各支所で相談してください。
※生活保護世帯、市民税非課税世帯の人は、自己負担額が免除になります。印鑑を持って事前に申請してください

■65歳以上の人インフルエンザ予防接種
3価ワクチンから4価ワクチンに変更になり、予防できるインフルエンザの種類がこれまでより広がります。
接種期間 10月15日(木)～平成28年1月31日(日)
対象 (つぎの①または②にあてはまる人)
①65歳以上の
②60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓、呼吸器の機能または、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する人(障がい者手帳1級相当)

接種回数 1回 自己負担額 1,500円
自己負担免除申請受付期間 10月1日(木)～平成28年1月29日(金)

■高齢者肺炎球菌予防接種
接種期間 平成28年3月31日まで
対象 (つぎの①、②全てにあてはまる人)
①今までに高齢者肺炎球菌ワクチン※の接種を受けたことがない
※23価肺炎球菌多糖体ポリサッカライドワクチン
②対象者生年月日(平成28年3月31日まで)

年齢	生年月日
65歳相当	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日
70歳相当	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日
75歳相当	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日
80歳相当	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日
85歳相当	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日
90歳相当	大正14年4月2日～大正15年4月1日
95歳相当	大正9年4月2日～大正10年4月1日
100歳相当	大正4年4月2日～大正5年4月1日

60歳～65歳未満の人で、心臓、じん臓、呼吸器の機能または、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する人(障がい者手帳1級相当)も対象
※定期接種の機会は、1人1回のみです。今年度の対象者は次年度以降対象になりません。接種を希望する人は必ず平成28年3月31日までに医療機関に予約をして接種しましょう(今年度中であれば誕生日前でも接種できます)。

接種回数 1回 自己負担額 4,700円

地区	医療機関名	住所	電話番号	インフルエンザ	高齢者肺炎球菌
大野	敬愛病院	中山	☎3333	○	○
	杉原外科医院	大野一丁目	☎0534	○	○
	永井医院	大野中央三丁目	☎0014	○	○
	永井内科胃腸科医院	宮島一丁目	☎0023	○	○
	永田内科	塩屋一丁目	☎3323	○	○
	中丸クリニック	宮島一丁目	☎0550	○	○
	長谷川整形外科	塩屋二丁目	☎1011	○	○
宮島	松本クリニック	福面三丁目	☎4530	○	○
	向井クリニック	前空五丁目	☎6166	○	○
	宮島クリニック	宮島町	☎41770	○	○